

「新型コロナウイルス感染症に対する日本生殖医学会からの声明」と 当院での対応

日本生殖医学会から「新型コロナウイルス感染症に関する声明」が発表されました。通院中の皆様におかれましては、今後の治療についてご心配されていることと思います。

「声明」では、「現時点で新型コロナウイルスの妊娠や胎児への影響は不明で、妊婦における感染リスクが高いとは言えないが、妊娠初期の胎児に及ぼすリスクや、妊娠中の感染の重症化の可能性、妊婦に禁忌の薬剤が使用される可能性など、妊娠成立後の感染への対応に苦慮することが予想される」ことから「国内での新型コロナウイルス感染症の急速な拡大の危険性がなくなるまで、あるいは妊娠時に使用できる予防薬や治療薬が開発されるまでを目安として、不妊治療の延期を選択肢として患者さんに提示していただくよう推奨いたします。（原文より抜粋※）」としています。

自然妊娠の場合でも全く同じ条件ですが、自然妊娠を避けるようにはされていません。また、現状では不妊治療をいつまで延期すればよいのか見通しすら立っていません。一方で、通院中の皆様におかれましては、一日でも早い妊娠を望んでおられることは承知しております。さらに、ご夫婦ごとに状況は異なっており、治療可能な時期や期間が限られた方も多くおられます。

以上より当院では、学会の声明と共に、ご夫婦ごとの状況やご意思を尊重して診療を行います。

新型コロナウイルス感染につきましては、今後も様々な変化があると考えられます。最新の情報を踏まえ、「治療の延期の選択肢」提示させて頂いた上で、治療継続を希望される方には、これまで通りの治療を継続致します。

今後の新型コロナウイルス感染症の状況によっては、治療の中止・延期をさせていただく場合もあります。予めご了解下さい。

当院では引き続き、新型コロナウイルス感染症の予防と情報収集を行い、皆様が安心して通院できる環境の維持に努めて参ります。

皆様におかれましては、別項「レディースクリニックを受診される方へ」をご一読いただき、感染拡大予防にご理解、ご協力頂けますようどうかよろしくお願い申し上げます。

2020年4月4日

よしだレディースクリニック
院長 吉田 壮一

※原文は、日本生殖医学会ホームページ「新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に対する日本生殖医学会からの声明（2020年4月1日版）」

（<http://www.jsrm.or.jp/announce/187.pdf>）
をご参照ください。